Hist. Paris, 2e sér. **23**: 651-654. Hutchinson, J. 1927. Contributions towards a phylogenetic classification of flowering plants. VI. A. Kew Bull. **1927**: 100-107. Wakabayashi, M. 1970. On the affinity in Saxifragaceae s. lato with special reference to the pollen morphology. Act. Phytotax. Geobot. **24**: 128-145. Ikuse, M. 1956. Pollen grains of Japan. Hirokawa Pub. Co., Tokyo (mainly 82-85). Ohba, H. 1982. Saxifragaceae. *In* Satake, Y. et al., Wild flowers of Japan, herbaceous plants (Heibonsha, Tokyo) **2**: 153-172. (Others are given in the taxonomic treatment.)

* * * *

系統について行った考察結果にもとづいて分類体系を校訂し，各種の記載を行った。オオクサアジサイをクサアジサイの亜種とする見解を提唱した。

□小林義雄：**世界の顕微鏡の歴史** (Kobayasi, Y.: The history of the microscopes, especially of Japan) 224pp. 1984. 自家出版. ￥13,000 (送料共). 著者の本業である菌学研究のかたわら，日本とヨーロッパの古顕微鏡（大量生産に入る以前の顕微鏡）とその製作者，これを使用した人々やその業績などについて，古今の文献を渉猟し，さらに自らの足と眼で確かめてまとめた古顕微鏡物語である。本文は I. 日本の顕微鏡史，II. 日本に現存又は記録に残る古渡顕微鏡，III. 顕微鏡発達史，IV. 顕微鏡による研究成果，V. 顕微鏡雑記の五部からなり，これに和英両文の顕微鏡年表を付す。三十余年にわたる著者の蘊蓄と，多くの文献から選ばれた線画の影印，とりわけ多数の各種古顕微鏡の写真は，この不可視を可視にかえる機器のもつ魅力とそれに惹かれた人と時代をみごとに物語っている。広く研究と機器についても，さまざまに考えさせられる。ただ，撮影上の困難さのためか，被写体がシルエット状になった写真がかなりあるのは，なんとも口惜しい。また，自家出版とはいえ，編集にはプロの手をかりた方がよかったように思われる。それにしても，本書を手にして，誠に敬意と感謝の念を禁じえない。入手には著者（〒273 船橋市[illegible]）へ直接に連絡するとよい。 （三浦宏一郎）

□石戸 忠：**描く・植物スケッチ** 155pp. 1985. 講談社ブルーバックス，東京. ￥850. 自らの画による検索図鑑など独創的な作品を発表している著者が，植物を知る手段としての植物画の描き方を，多くの実例について解説したもので，これほど懇切なものはまだ無かったと思う。描く順序や注意点が番号つき矢印で一々示され，これから画を描いてみようという人ばかりでなく，分類学専攻者にとっても着眼点の開発や整理に役立つだろう。 （金井弘夫）